点訳フォーラムＱ＆Ａ

2020年４月～2021年３月版

第３章　分かち書き

その１　自立語と付属語

１　基本的な分かち書き

１．p51　1. 自立語　2. 付属語

「ならず」「ならぬ」についてお聞きします。「強いアートとは、ぶっとんだものでなければならず」は、「なければ■ならず」でいいでしょうか。語例集に「忠ならんと■欲すれば■孝ならず」とありますが、この区別を教えてください。

【Ａ】

「ならず」には二つあります。

一つは、「～なり」(「～である」) という助動詞の否定形。

もう一つは、「なる」(「成る」) という動詞の否定形。これは「ならない」と言い換えることができます。

「忠ならんと欲すれば孝ならず」は、「忠であろうとすれば孝であることができない」と言うことですから、助動詞の「なり」で続けて書きますが、「～でなければならず」の方は、「～でなければならない」と言い直すことができますから「なければ■ならず」となります。

フォーラムの語例集では、「我慢■ならず」があります。これは、「我慢■ならない」と言い換えることができますので、「～でなければならず」と同じです。

２．p51　２．付属語

「みたい」のマスあけについて、語例集も見ましたが、マスあけする場合と、続ける場合の考え方を教えてください。

【Ａ】

「みたい」は、大きく二つに分けることができます。

一つは、「見たようだ」から転成してできた助動詞「みたいだ」です。助動詞なので活用します。「みたいに、みたいで、みたいだ、みたいな、みたいなら」などの形で用いられます。助動詞ですから前の語に付けます。「～のようだ、～のようで」のように言い換えることができます。「フォーラム」の語例集にある以下の語は、助動詞「みたいだ」ですので前の語に続いています。

狐みたいな顔　　キツネミタイナ■カオ　　(きつねのような顔)

嘘みたいな話　　ウソミタイナ■ハナシ　(嘘のような話)

夏みたいだ ナツミタイダ

夢みたいな事ばかり　　ユメミタイナ■コトバカリ
そうみたい　　ソーミタイ　　「そのようだ」の意
雨が降っているみたい　　アメガ■フッテ■イルミタイ
帰ったみたいだ　カエッタミタイダ
また、助動詞ですから、外字符を用いたアルファベットの後ろ、外国語引用符の後ろは､区切って書きます。
ＳＦみたいだ　　外大大ＳＦ■ミタイダ
ＳＦみたいな話　　外大大ＳＦ■ミタイナ■ハナシ
もう一つは、動詞「見る」に、希望や願望を表す助動詞「たい」が付いた形です。動詞は自立語ですから、「見」の前はマスあけします。ほとんどの場合「～て■みたい」の形で用います。
行ってみたい；言ってみたい　イッテ■ミタイ
してみたい　　シテ■ミタイ
振り返って見たい　　フリカエッテ■ミタイ

ただ、「きつね見たい」のように、「きつねを見たい」の「を」が省かれている場合もありますので、「～のようだ」が当てはまるのかどうかで、マスあけを判断しなければならない場合もあります。

３．p51　２．付属語
幼稚園に入学した写真やなんかを印刷した年賀状。
セキュリティの見直しやなんかで・・・。
この場合の「なんか」はどの様に考えればよいのでしょうか。写真なんか・見直しなんかでしたら前の言葉に続きますが、「何か」だとしたら切ると思います。
考え方や文法的なことを教えてください。
【A】
１．写真なんか撮らない、見直しなんかしない
⇒　この場合は、助詞「など」が変化した形
２．写真やなんか印刷した　見直しやなんか
⇒　この場合は、「代名詞（何）＋助詞（か)」の「何か」（なにか）の音便形ですから自立語になります。
ご質問の二つの例は、いずれも２．に当てはまりますので、「写真や■なんかを」「見直しや■なんかで」と区切って書きます。
なお、１．かどうかを判断するには「なんか」を「など」に言い換えてみると分かりやすいと思います。

２　注意すべき分かち書き

１．p53　１．形式名詞

朝日新聞４月５日付(18面）加藤登紀子の「ひらり一言」に、「･･･気持ちに力が入らないものよ。」と書いてあります。この「ものよ」は、マスあけでしょうか。点訳フォーラムの語例集には「よく■遊んだ■ものよ」とあります。
また、「やはり子どもの吸収力は大したもの。」の「もの」は、マスあけですか、それとも一続きですか。点訳フォーラムの語例集に「ああ■した■もの」はマスあけしてあり、「強い子でしたもの」は一続きです。終助詞かどうかの判断を教えてください。

【A】

「･･･気持ちに力が入らないものよ。」は、マスあけしてよいと思います。「もの」は形式名詞か、終助詞かを判断することがポイントになります。理由や根拠を述べて「だって～もの」「でも～もの」のように用いられる場合や、理由を表す「～から」と言い換えられる場合は終助詞と判断できます。

だって、買いたいんだもの
でも、とても重いんだもの
そんなこと言うなんて思わないもんな

のような場合です。

ご質問の文は「人は手に何かつかんでいないと、気持ちに力が入らないものよ」というものですので、上に挙げた終助詞の使いかたとは異なります。

「人は～ものだ」という文で用いられていて、「気持ちに力が入らない」が「もの」の連体修飾語となりますので、形式名詞と判断してマスあけして書きます。

「やはり子どもの吸収力は大したもの。」の方は、「やはり■子どもの■吸収力は■大した■もの。」と区切って書きます。

「もの」は形式名詞になります。この「もの」が無いと文がなりたちません。

「やはり■子どもの■吸収力は■大した」では、おかしいですね。

助詞の場合は、その「もの」がなくても意味は通じます。または、「から」「わ」などほかの助詞に変えることもできます。

「強い子でしたもの」の場合は「強い子でした」でも「つよい子でしたから」でも意味が通じます。このようなときは助詞になります。
「『点訳のてびき第３版』指導者ハンドブック　３章編」のｐ６～ｐ７の「コラム」も参考にしてください。

２．p53　１．形式名詞

原文に「何時頃」とあるのを、「ナンジゴロ」と読んだところ、語例集には「2014

年頃」「６時頃」を「2014ネンコロ　2014ネン■コロも可」「６ジコロ　６ジ■コロも可」とあるから「コロ」と読むのではないかと校正で指摘されました。「てびき第３版　Ｑ＆Ａ第２集」Q32では「2008ネンゴロ　2008ネンコロ　2008ネン■コロ」いずれも可とあります。この相違は、年々のことばの変化を取り入れてのことなのでしょうか？

【Ａ】

漢字の「頃」は、日時の後に付けば連濁することが多いですし、点訳する場合は、「ごろ」と読んで前に続けて書けばよいのですが、原文で「６時ころ」と仮名で書いてある場合の切れ続きについて、議論になりました。

「Ｑ＆Ａ第２集」Q32にあるように、編集当時には、全体として意見の一致には至りませんでした。ただ、点訳フォーラムとしては、名詞に続く「頃」は「ころ」と読んでも「ごろ」と読んでも接尾語的な働きをしていると考えていますので、続けて書く方をお勧めします。語例集の「注記」ではなく「点字表記」の方の書き方がよいと思います。

なお、点訳フォーラムの語例集の「読み」は、このように読んだ場合、このような点字表記になりますと言うことを示しています。「漢字仮名交じり表記」の欄は、「読み」を漢字仮名交じりにすればこうなりますということを示しているので、「漢字仮名交じり表記」の漢字は、こう読まなければならないと言うことを示しているのではありません。つまり「頃」と書いてあったら「ころ」と読まなければならないという訳ではありません。

最初に書きましたように、原文で「頃」とあったら、「ごろ」と読んでよいのです。紛らわしいのですが、ご注意ください。

３．p54　１．形式名詞　【備考】

《次のような語は形式名詞ではなく、助詞や接尾語なので・・・・・》と記載されてありますが、【備考】の下線部分を辞書・文法書を見てもそれらしきものが載っておらず全く理解出来ません。できれば一つずつもう少し詳しく教えてください。

【Ａ】

ここに示されている語は、辞典を引くと、その主な語義・用法は、名詞（形式名詞）ですが、中には助詞や接尾語的な用法もありますので、文の中での使われ方に注意が必要ですという語です。

「岩波国語辞典」「三省堂国語辞典」「新明解国語辞典」のいずれかをご覧ください。たとえば、「当たり」をひくと

「岩波」では、二に《接尾語的に》・・・に対して　「一日当たり千円」「一アール当たりの収量」

「三省堂」では、二（造語）①・・・を単位とすること。「一日当たり一万円の日当」

「新明解」では、二（造語）①それを基準単位とすることを表す「一日一万円を支給する」
とあります。（造語）は、三省堂・新明解に独特の品詞の表し方で、接頭語・接尾語に近い語について定義しています。

このように、基本的な上記３辞典のいずれかを引くと、ここに掲載されている語は「接尾語」「接尾語的」「造語成分」に分類されています。

もっと大きな中型の辞典のうち、よく使われている「広辞苑」は、語数や語例が非常に多いので、助詞の用法が見つけにくかったり、品詞が書かれていないことも多く、このようなことを調べるには適していません。辞典の特徴については、「点訳フォーラム」の７月１日のブログも参考になさってください。

４．p55　２．補助動詞

語例集で、「君死に給う事勿れ、眠り給う」について「シニタマウ、ネムリタマウ」と続けています。「給う」は敬う意味の補助動詞と思いますが、なぜ前を切らずに続けているのですか。「てびき」p55、p219(古文)共に「補助動詞の前は切る」とありますが、どのように考えたらよいのでしょうか。

【A】

「給う」は、上代から使われている尊敬・謙譲を表す敬語で、動詞としても補助動詞としても使用されていますが、現代語では、動詞は「賜う・賜る」がもっぱら使われ、「給う」は補助動詞として、命令の形で「早くしたまえ」「帰りたまえ」などと使われるにとどまっています。

しかし、文語的な表現や古文の引用などで点訳する場合も多く、迷いやすい言葉です。

補助動詞として使われる場合は、「コラム13」にあるように前が「～て（で)」の場合は区切って書きますが、動詞の連用形に続く場合は複合動詞となり、続けて書きます。「死に給う」「眠り給う」「謝り給え」など、連用形接続ですので続けて書きます。

冒頭に書きましたように現代語では、「たまう」は「いただく・ください・いたします」などのように丁寧な言い方としては用いられていませんので、「コラム13」の③には入りません。

ただし、古文の教科書・学習書では、古文での敬語表現の学習・理解のために、「区切って書くことができる」としています。これはあくまでも生徒の学習のための方法ですので、一般書では、p222の【備考２】は用いないことをお勧めしています。このことは「てびき」p97［参考］もご覧ください。

なお、p219の用例をご覧いただくと、すべて前に助詞・助動詞があるか、前が形容詞ですので、自立語である補助動詞は区切って書くことになります。

「いふべきにも■あらず」「書きて■候ふが」「ことに■侍らん」「清げに■おはする」「賢く■おはすれば」「深くも■なかりしか」「何とには■なけれども」となっています。

５．p57　３.「なさる・なさい」　【処理】

(1)　実家へ行った時、兄嫁が言った言葉、「市兵衛さん、おいでなさい」

(2)　城勤めの夫が帰った時の妻の言葉、「お戻りなされませ」

以上は挨拶言葉として、続けますか。

【A】

これらも広い意味では挨拶言葉かもしれませんが、「てびき」p57【処理】の挨拶言葉は、現代の「お休みなさい」「お帰りなさい」「ごめんなさい」に限られています。それ以外は、3. の本則、【備考１】【備考２】に準じて書きます。

「おいでなさい」も「お戻りなされませ」も【備考２】に当てはまりますので「オイデ■ナサイ」「オモドリ■ナサレマセ」となります。

６．p57　４.「ない」

「差し支えない」について、語例集の備考欄に《動詞「差し支える」の否定形と判断すれば続けて書くことも可》とありました。否定形と判断するというときは、どのような時でしょうか。どのような場合に当てはまりますか。

【A】

動詞「差し支える」は「～に差し支える」という表現で使われます。

テレビは勉強に差し支えない。

連休の交通渋滞は輸送に差し支えない。

夜更かしは仕事に差し支えない。

のような文があった場合、

テレビは勉強に差し支える。

連休の交通渋滞は輸送に差し支える。

夜更かしは仕事に差し支える。

の否定形と判断すれば、続けて書くことも可となります。ただ、このような場合も「サシツカエ■ナイ」と書くことができます。

動詞「差し支える」の否定形は「差し支えない」です。

夜更かしが仕事に差し支えるか差し支えないかは、仕事の内容と体調による。

のような場合は、「サシツカエナイ」と書いた方が自然でしょう。

７．p58　４.「ない」　【備考】

「発足間もなく」という場合、「ホッソク■マモ■ナク」でしょうか。それとも「ホ

ッソク■マモナク」でしょうか。

【A】

「発足間もなく」という表現が、なめらかな日本語とは言えない感じがしますし、前後の文脈が分かりませんので、断定はできませんが、

発足■間も■なく■解散■した。

発足■間も■なく■起こった■出来事

発足後、■間もなく■解散■した。

発足■して■間もなく■解散■した。

発足■間もなくの■頃だった。

のようになると思います。

「間もなく」「間もない」は切れ続きの判断に迷うことが多い言葉です。基本的には、「間もない」「間もなく」の「も」を格助詞の「が」に置き換えられる場合は、「マモ■ナク」「マモ■ナイ」と区切って書きます。

休む■間も■なく■働いた

また、「まもなく」が１語として「やがて」「すぐに」「ほどなく」の意で副詞的に使用されている場合は、一続きに書きます。判断の目安としては、「まもなく」を「やがて」「すぐに」「ほどなく」などの語に置き換えて文脈が通じるかどうかです。

間もなく■春が■来る

間もなく■電車が■来ます

のような場合です。

以上のことから考えると、「発足後間もなく」「発足して間もなく」の形であれば、「間もなく」を「やがて」「すぐに」等の語に置き換えられますので副詞として続けて書きますが、「発足間もなく解散した」「発足間もなく起こったできごと」という場合は、１語の副詞と断定しにくい使われ方ですので、文節分かち書きの原則に従って「間も■なく」と区切って書くのがよいと思います。

ただし「発足まもなくの頃」のように後ろを助詞で受ける場合は続けて書きます。

８．p58　4.「ない」　【備考】

「途轍もない」の分かち書きについて教えて下さい。点訳フォーラムの語例集では「トテツモ■ナイ」となってます。「てびき」p58【備考】の［参考］では「ない・なく・なし」などが、前の語と複合して１語になっている場合は続けて書く（この場合の１語とは７～８万語記載の普通の辞書に「見出し語として掲載されているかどうかで判断する）とあります。「三省堂国語辞典第７版」では「途轍もない」（形容詞）とあります。だとすると、この場合は続くのではないでしょうか？通常「途轍がない」とは言わず「途轍もな・い」と慣用句として使われているように思いますが、いつもこの辺りで迷います。

【A】

「とてつもない」は確かに「三省堂国語辞典」では、形容詞とされていますが、「岩波国語辞典」では、形容詞ではなく「成句」という判断になっていますし、「新明解国語辞典」でも形容詞とは扱われていません。「基本的な国語辞典の多くに見出し語として掲載されている」とまでは言えないと思います。

また、「とてつもない」は「とてつ」と「ない」の間に助詞の「も」が入っていますので、文節分かち書きの原則に従うと、区切って書くことになります。

このようなことから、「点訳フォーラム」では、区切って書くとしています。

同じような語として「はてしない」があります。「はてしない」は形容詞と判断する辞典もありますが、「し」が強意の助詞ですので、文節分かち書きの原則に従って点訳フォーラムでは「ハテシ■ナイ」と区切って書くこととしています。

ただし、助詞が間に入っても、「見たくもない」が変化した「みっともない」、「途でもない」が変化した「とんでもない」などは、区切ると不自然になるので、一続きに書くことにしています。

９．p58　４．「ない」　【備考】

「無し」の切れ続きについて、質問します。

「シロップ無しモヒートを注文する」

「１泊食事無しプランを予約する」

は、「シロップナシ■モヒート」「ショクジナシ■プラン」でよいでしょうか。

【A】

「シロップナシ■モヒート」

「ショクジナシ■プラン」

と書いてよいと思います。

「なし」は、文語の形容詞から転じて、現代でも使われている言葉で、「てびき」の例にある「形なし、底なし、意気地なし、碌でなし」などのように一語になっている場合以外は基本的に前を区切って書きます。

点訳フォーラムの語例集にも「なし」の例が数多くありますが、この中で続く例は、多くの国語辞典で見出し語として掲載されている語です。

ただし、「足なしとかげ」「耳なし芳一」「アポなし訪問」「酒なしデー」「情なし■宿六」「父なし子」「底なし沼」などのように、動物名、人物名、固有名詞や複合語などの一部になっている場合は、区切って書いては不自然なので一続きに書いています。今回ご質問の語は、これに当てはまりますので、一続きに書きます。

なお、

このモヒートはシロップなしだ。

宿泊プランで食事なしを選ぶ。

のようになれば、一語とは言えないので、「シロップ■ナシダ」「ショクジ■ナシヲ」のように区切って書きます。

10. p59　５．なくなる　(2)

ユーチューブに投稿されている料理動画を見て、その料理を再現しようとしている親子が、最初はそのレシピ通りにやっているのですが、二人で夢中で料理をするうちに「ユーチューバーのレシピなどもう関係なくなって、自分たちのやり方を追求し始めている私たちがいた」という文があります。

「関係がなくなる」と「が」を補って考えると、「なくなる」を続けることになりますが、どうしても「関係ない」という形容詞に「なる」が付いているように思えて「関係■なく■なって」としたくなるのです。

「仕方が■なく■なって」「どう■しようも■なく■なる」と同じ扱いにしたいのですが、やはり「が」を補って考えられるので「心配なくなる」と同様の扱いになるのでしょうか。

【A】

基本的な考え方としては「カンケイ■ナクナッテ」となります。

一語の「なくなる」は、消失を表す複合動詞ですが、辞書でもう少し詳しく意味を調べてみると、「それまであったものが無い状態になる」などと説明されていますので、ユーチューブのレシピの事例にあてはめてもとくに不自然ではないと思います。

「仕方」とか「しよう」という語は「関係」「興味」「必要」などと異なり、「仕方ある」「しようがある」などとはあまり言わず、「仕方ない」「しようがない」のような形だけで使うことが多いので、「あったものが無くなる」の意味にはあてはまらず、区切って書きます。

11. p60　６．「こ・そ・あ・ど」など　【備考】

「それゆえ」の分かち書きについて

政治に向かないというのもそれゆえだ。

候補が乱立するのもそれゆえで…

上記のように接続詞として使われていない場合は分かちの原則に従い「それ■ゆえ」と区切るのでしょうか？　それとも、「それゆえ」で一語と考えてよいのでしょうか？

【A】

「それゆえ」は接続詞的に使われる場合が多いのですが、一語としての結びつきが強く、区切って書いては不自然ですので、

政治に向かないというのもそれゆえだ。

候補が乱立するのもそれゆえで…
の場合も一続きに書いてよいと思います。
「てびき」p60【備考】にある「どうして」「どのみち」「そうして」「そのせつ」などは、一語になっている場合と、そうでない場合とで、用法も意味も明らかに異なりますので、マスあけも区別して書きます。

12. p60　６.「こ・そ・あ・ど」など　【備考】

「てびき」ｐ60「こ・そ・あ・ど」の【備考】の用例「そうして弟も劣らず、･･･」について《そしての意》は続けるとあります。辞書に「そして」は「そうして」に同じと書いてあるものもありますが、両者の違いを説明しているものもあり、「そうして」の点訳に悩みます。
以下の場合は、どうしたらよいでしょうか？
「試験前なのに遊んでばかりだった。そうして赤点を沢山とって補習を受ける事になった」
「突然空が暗くなり始めた。そうして雷も鳴りだした」
「冬が去り、そうして春が来る」
また、原本全体を見て、「そして」と「そうして」と２種類が使われている場合は、「そうして」を「ソー■シテ」としてよいでしょうか？
【A】
「そうして」が接続詞として用いられているかどうか、迷うことが多くあります。ただ、点訳では、「そう＋して」（そうやって、そのようにして）と解釈できる場合は、文頭にあっても本則に従って区切って書くことにしています。
「てびき３版」の【備考】の例文にあった「そうして二人は結ばれた」は「そうやって」とも解釈できるので、４版では例文を変更しました。
ご質問の文例では、すべて、接続詞とも解釈できますが、最初の例は「そうやって、そのようにして」ともとれますので、最初の文は「ソー■シテ」でよいと思います。
第２文、３文は、「そうやって」とはとれませんので、「ソーシテ」と続けてよいと思います。
原文で２種類が使われている場合でも、「そうして」については、上に書いた判断基準で「ソーシテ」「ソー■シテ」のどちらであるかを見極める必要があります。

13. p61　６.「こ・そ・あ・ど」など　「コラム15」

「その後」の読み方として、「そのご」「そのあと」に明確な違いはありますか。
【A】
「その後」は「ソノゴ」「ソノ■アト」「ソノ■ノチ」の読み方がありますが、

微妙なニュアンスの違いはあるものの、明確な使い分けはできないと思います。
たとえば
　「ソノゴ、いかがお過ごしですか」
　「ソノ■アトデ■食事をした」
　「ソノ■ノチニ■ローマ帝国は滅亡する」
などのように、文脈や後ろに続く付属語によって判断し、不自然でないように読むことになります。
　「ソノゴ」には、ある時点以降ずっとというようなニュアンスがありますし、「ソノ■ノチ」は、時間的な「あと」だけを示し、三つの中では、もっとも文語的な、あらたまったニュアンスがあります。
後ろに付属語が付いていない「その後」だけの場合は、読み方を校正で指摘するのは難しいように思います。

その２　複合語

１　短い複合語・接頭語・接尾語など

１．p63　１．短い複合語・略語

　次のような場合の切れ続きについてお尋ねします。
　「びわの実」は、「ビワノ■ミ」ですが、「びわの実学校」は、「ビワノミ■ガッコー」でしょうか、または「ビワノ■ミ■ガッコー」でしょうか。
　「点字表記の語例」に「椎の実」は「シイノ■ミ（植物名)」、「しいのみ学園」は「シイノミ■ガクエン（組織名)」とありますので　「ビワノミ■ガッコー」でしょうか。
　助詞「の」のあとマスあけするかしないかの違いはどう考えたらいいのでしょうか。びわの実・椎の実は普通名詞、びわの実学校・しいの実学園の「びわの実・椎の実」は固有名詞だからでしょうか。
　また、「桜宮（サクラノ■ミヤ)」「桜宮　巌（サクラノミヤ■イワオ)」ですが、桜宮市、桜宮病院、桜宮警察署、桜宮署、桜宮海岸などはどのように書くのでしょうか。
　　【A】
　「の」の後ろが１拍で、その後ろに言葉が続く場合は、１拍の語だけを切り離して書くと、全体として不安定で、落ち着かない感じがしますので、全体的な意味のまとまりを考えて、１拍の語を「の」に続けて書く場合が多くなります。
特に固有名詞の場合に当てはまります。これは、厳密なルールではなく、読みやすさや意味のまとまりのわかりやすさなどを考慮したもので、すっきりと分かち書き

のルール通りの説明が付かないところです。

シイノ■ミ　⇒　シイノミ■ガクエン

ビワノ■ミ　⇒　ビワノミ■ガッコー

「～の～」だけで無く、マスあけを含む短い語の後ろにさらに２拍の語が続く場合なども、まとまりを考えて一続きに書くことがあります。

ビワノ■ミ　⇒　ビワノミカイ（びわの実会）

アオイ■トリ　⇒　アオイトリエン（青い鳥園）

カキノ■ハ　⇒　カキノハズシ（柿の葉寿司）

のようになります。

固有名詞の場合だけでなく、後ろに２拍の語が続くと

クモノ■ス　⇒　クモノスジョー（蜘蛛の巣状）

アサノ■ハ　⇒　アサノハモン（麻の葉紋）

のように書きます。

しかし、普通名詞の場合は、後ろに自立可能な意味のまとまりが来ると

カラノ■ス■ショーコーグン（空の巣症候群）

アサノ■ハ■モヨー（麻の葉模様）

のように区切って書きます。

このように、１拍の語、ごく短い拍数の語が続く場合、「てびき」p63の１．の規則や【備考】などを参考に、全体的なまとまりを考えてマスあけをすることになります。

「桜の宮」については、地名であれば区切って書きますし、姓であれば続けて書きます。ですから、「桜の宮学園」「桜の宮病院」などの場合、地名であれば「サクラノ■ミヤ■ガクエン」「サクラノ■ミヤ■ビョーイン」となりますが、理事長や院長の名字から命名されたのであれば、「サクラノミヤ■ガクエン」「サクラノミヤ■ビョーイン」となります。

２．p65　２．接頭語・接尾語など　【備考】

「新住所地」の「新」は切るのですか。理由も教えてください。

【A】

シン■ジューショチ　と書きます。

新住所でしたら、シンジューショと続けますが、新住所地はあまり一般的でない表現ですし、後ろの「住所地」は、「住所」に「地」という１字漢語がプラスされた形です。

「てびき」p65の「新■時刻表」と同じ成り立ちになっています。「時刻表」は「時刻」に「表」がプラスされた形です。

「新」は原則として、後ろの語と続けて書きますが、このように、後ろに付く語

に接尾語や１字漢語の造語要素が付くと、拍数が増えることもあって、区切って書いた方が分かりやすくなります。

「新発明」は一続きですが、「新発明家」であれば「シン■ハツメイカ」、「新開拓」は一続きですが「新■開拓地」のようになります。

ただ、「新仮名遣い」「新政府軍」「新古典派」のように長くても、「新」も含めて一語としてのまとまりがある語は続けて書いています。

３．p65　２．接頭語・接尾語など　［参考］

「同」の切れ続きについて「てびき」ｐ65［参考］を読みましたが、以下の原文の「同」は「その」とも「同じ」ともいえるように思え、切れ続きに悩んでいます。

『京都大学医学部卒業、同大学院医学研究科修士課程修了。』

【A】

この場合は、「その」の意味で「ドー■ダイガクイン」となります。

「その」の場合は、前に「その」を示す内容が一度提示されていることが特徴です。ただ、明確に判断ができない場合もあります。「同じ」とも解釈できる場合もありますが、前に「その」の具体的事柄が示されている場合は、「その」の方を取ります。

「同じ」の意味の場合は、「～と」と格助詞を伴うか、少なくともその言い方を含んだ表現になります。

「彼とは同大学の出身だ。」　ドーダイガク

「私は、〇〇大学出身です。かれも同大学の出身です」　ドー■ダイガク

２　複合名詞

１．p67　１．３拍以上の意味のまとまり

分かち書きをおたずねいたします。

ただ力任せに振っているだけに見えた。

例文中の「力任せに」は形容動詞で「振っている」を修飾しているのではないかと思うのですが如何でしょうか。それとも、「ちから■まかせに」でしょうか。

【A】

「力任せ」は、確かに「に」を伴って形容動詞の働きをしていますが、点字では「力任せ」の部分は、複合名詞内部の切れ続きのルールに従います。

ですから「チカラ■マカセニ」となります。

国語辞典を引くと、〔名・ナノ〕「名・形動」などと書かれていて、「な、だ」を付ければ形容動詞ですが、その語幹部分は名詞として働く語です。これらの語幹部分

は複合名詞の切れ続きのルールに従います。

「波瀾万丈な人生を送る」なども「波瀾万丈な」が形容動詞の働きをしますが、「波瀾万丈」の部分は、複合名詞の切れ続きに従い「波瀾■万丈な」とします。

「一心不乱に勉強に打ち込む」の「一心■不乱」、「涙混じりに話す」の「涙■混じり」なども同じです。

２．p67　１．３拍以上の意味のまとまり【備考１】

「気持ちよさ」は、余り耳にしないことばですが、著者の口癖なのか、現在点訳している本に相当数出てきて、続けていいのかマスあけするのか迷っています。

「気持ちいい」「気持ちよい」は名詞と形容詞なので、マスあけしていると思いますが、これは名詞＋名詞で５拍なので続けていいという意見と、「気持ち良い」がマスあけしているから区切って書くという意見があります。　どう判断すればいいでしょうか？

【A】

「気持ちよい」は、「キモチ■ヨイ」と書くことから、複合形容詞ではなく、名詞「気持ち」＋形容詞「よい」で、２語になります。「よい」が「よさ」という名詞に変わっても、「気持ち」＋「良さ」の２語と考えます。３拍＋２拍という複合名詞のルールに当てはめずに、「キモチ■ヨサ」となります。

同様に「申し訳■ない」は名詞＋形容詞の2語と考えるので、「申し訳なさ」と形を変えても１語として続けて書かず、「申し訳■なさ」と区切って書きます。

３，p68　２．２拍以下の意味のまとまり

「働く親同士で助け合う　ハタラク■オヤ■ドーシデ■タスケアウ」が語例集にありますが、親は２拍の和語で続ける成分なのに「オヤドーシ」と続けないのはどうしてでしょうか。

「一人で来た客同士が言葉を交わしたり…」という原文があります。「客」は、１字漢語で続ける成分なので「キャクドーシ」となるのでしょうか。語例集には「客」で始まる語句はほとんど続いていますが「客本人　キャク■ホンニン」はどうしてマスあけするのでしょうか。

【A】

「親同士」は「オヤドーシ」と続けて書きますが、「親」に連体修飾語が付いた形の「働く■親」＋「同士」となると、「ハタラク■オヤ■ドーシ」となります。

これは「同士」だけがこうなるのではなく、「人次第」は「ヒトシダイ」ですが、「使う■人」＋「次第」となると「ツカウ■ヒト■シダイ」となります。

親同士のコミュニケーションが必要だ　⇒　オヤドーシ

働く親同士のコミュニケーションが必要だ　⇒　ハタラク■オヤ■ドーシ

その製品が便利かどうかは人次第だ　⇒　ヒトシダイ
その製品が便利かどうかは使う人次第だ　⇒　ツカウ■ヒト■シダイ
このように、連体修飾語が付いた場合はマスあけに注意します。
「客同士」も、「親同士」と同じ考え方になります。
一人で来た客同士が言葉を交わしたり…　⇒　ヒトリデ■キタ■キャク■ドーシ
「客■本人」の場合は、「本人」の方に区切る理由があります。「本人」は「客」を強調する働きがあり、複合語とは言えないので区切って書きます。
「彼■本人」「子■本人」となります。
「自身」「自体」なども同じです。

４．ｐ69　2.　２拍以下の意味のまとまり　【備考】

「性交渉」の切れ続きについてお尋ねします。
語例集で「性」を調べると沢山の事例があり、それぞれの理由を「てびき」p69の【備考】を基に考えてみましたが良く分かりません。「性交渉」を切る理由を教えて下さい。
「咳エチケット」のマスあけが変更になりましたが、最初に「セキ■エチケット」とした理由が分かりません。「てびき」p73にあるように「２拍以下の和語は、外来語が長くても一続きに書く」ので、一続きではないでしょうか。
【A】
漢字１字２拍以下の語と漢字２字の組み合わせの語の切れ続きはそれが複合名詞になっているのかどうかの判断にとても迷うところです。
一般には、複合名詞と判断されれば一続きに書きますが、間に発音上の切れ目がある場合は、区切って書くことになります。
「発音上の切れ目」「日本語のアクセント」については、「点訳フォーラム」の「点字・点訳の用語解説」(https://tenyaku.jp/commentary/) を参照してください。
また、「性」「核」などのように漢字で書くとすぐに分かりますが、「セイ」「カク」と点字で書いたときには、どちらかと言えば区切った方が、その意味が伝わりやすい語もあります。このことも切れ続きの判断に影響を及ぼしています。
「性行為」「性生活」「性教育」のように結びつくことによって特定の意味が生じ、一般にそれが了解されているようなものは、複合語の原則に従って扱っています。
「性交渉」は特に迷う例ですが、上記のように、続けて読むよりも「セイ」で区切った方が意味が理解しやすいと判断し、区切って書くこととしました。
「咳エチケット」については、点訳フォーラムのブログ（４月29日付け）に書きましたが、「咳エチケット」は新しい言葉で、この言葉が使われ始めた頃は「てびき」p73(3)にある「胸ポケット」「コンクリート壁」のように、１語としての結びつきの強い複合名詞としてではなく、「咳のエチケット」というとらえ方で、「咳」を切り

離した方が意味が分かりやすいと考え区切って書くと判断していました。
その後、急速に広く使われるようになり、言外に含まれるニュアンス（マスクをかけ、飛沫を拡散させないという意味合いなど）まで認知されるようになったので、複合語として熟したと考え、p73(3)のルールに従うこととしました。
同じような例に「要介護」「要支援」があります。もとは「ヨー■カイゴ」「ヨー■シエン」と区切って書いていましたが、介護保険が導入されたときに「要介護３」「要支援２」などと、広く使われるようになりましたので、今は「ヨーカイゴ」「ヨーシエン」と一続きに書いています。
新しく出来た言葉にはこのようなことがありますので、常に注意していく必要があると思います。

５．p69　２．２拍以下の意味のまとまり　【備考】

分かち書きについて質問いたします。次の語の分かち書きは正しいでしょうか。
横展開　→　ヨコ■テンカイ
基盤校費　→　キバン■コーヒ
利用客数　→　リヨー■キャクスー
【A】
「横展開」は、《もともとはトヨタ用語で、ある部署で決まった内容を隣の部署等、直接の指揮系統に入っていない組織にも水平方向（横方向）に伝えていき、事実の共有や手法の共有をはかっていくことで、現在はトヨタ以外の会社でもよく使われる用語》だそうで、「横展開する・横展する」などと用いるそうですので、このような意味で用いられている場合は、「ヨコテンカイ」と一続きに書きます。
「基盤校費」は、「教育研究基盤校費」のように使用されるようです。
これは、「基盤＋校＋費」ではなく、「教育研究基盤」の「校費」と解釈できますので、複合名詞の本則のp67　1.「社会福祉、栄養満点」などと同じ成り立ちで、「キバン■コーヒ」と書きます。
「利用客数」は、やはり、p67　1．の「点字用紙、経済学者、会計課長、結婚式場」などと、同じ例となります。

６．p69　２．２拍以下の意味のまとまり　【備考】

「犬猫」の切れ続きに迷います。
語例集に「犬■猫の■飼い方」「犬猫■病院」があります。
続けて書くか区切って書くかは、複合語と捉えているか、〇と〇と捉えているかの違いと考えていいでしょうか。
辞書を調べますと「犬猫」には「犬と猫」のほかに「犬や猫」「本能にまかせて行動するものを軽蔑していうことば」「とるにたりないもののたとえ」といった意味が

載っていました。動物全般をさしたり、「とるにたりないもの」的な意味のときは「犬猫」と続くのでしょうか。
　次のような場合はどうなりますか。
　「自由が何より大事だというなら、犬猫のように生きるのがいちばんということになりますよ」
　「犬猫のように生きるのがいちばんなのではないですか。それができないから、我々は不幸になる」
　「犬と猫」と考えれば「犬■猫のように」となるのか、動物全般あるいは取るに足りないものと考えるなら「犬猫」となるのか…
少し似ているものに「鍋釜が賑わう」というのがあるかと思います。「鍋と釜」から離れて別の意味「炊事道具」を指しているときは一続き。
　「犬猫」もこれと同じように考えるのかなと思いました。
　また、
　禁止区域に取り残された犬猫がたくさんいる。
　犬猫への給餌と保護をし始めた。
　自分が重度の犬猫アレルギーであることがわかった。
　エッセイ本『犬猫太平記』を発表した。
　犬猫入荷情報
　犬猫グッズ
　犬猫飼養アドバイザー
どれも「犬と猫」の意味で用いられているもの、他の語と複合語となっているものです。どのように考えればいいでしょうか
　　【A】
「犬猫」「鍋釜」「秋冬」などの切れ続きは、大変迷うところですが、基本的には、以下のように考えます。
　１．〇と〇という、それぞれ自立した意味のまとまりとして区切って書く
　犬■猫の■飼い方
　取り残された■犬■猫が■たくさん■いる
　犬■猫■グッズ
　犬■猫■アレルギー（犬アレルギーと猫アレルギー）
　犬■猫■入荷■情報
　犬■猫■みなしご■救援隊（ＮＰＯ法人）
　犬■猫■太平記
　犬■猫■里親
　犬■猫■殺処分
　鍋■釜を■洗う

２．複合語として新たな意味がある場合は続けて書く
犬猫■病院　（動物病院の意）
鍋釜が■賑わう　（生活が豊かだ）

上記１．２．のどちらに該当するかで判断します。
次に、「犬猫」で「本能にまかせて行動するものを軽蔑していうことば」「とるにたりないもののたとえ」という新たな意味があるとして取り上げている辞書がどの程度あるかを見てみると、取り上げているのは、「三省堂国語辞典」「日本国語大辞典」です。「広辞苑」「大辞林」「岩波国語辞典」「新明解国語辞典」「大辞泉」「新潮国語辞典」などには見出し語として扱われていません。
このことから、「犬猫」だけで新たな意味を生じるとまではいえず、うしろに「のように」「みたいな」などを伴って、「犬、猫」に「とるにたりないもの」を代表させていると考えられます。
そこで、そのような場合は、切れ続きの原則に従い
犬■猫のように
犬■猫みたいに
と区切って書いてよいと思います。
ただし、短いまとまりで区切ると不自然なものは、続けて書きます
秋冬物　犬猫物
犬猫用　鍋釜用

以上のように、１．２の切れ続きの原則を基に判断することとなりますが、判断に迷う語は多く、語によって、判断にある程度の幅やゆれがでてくることも仕方の無いところと思います。

７．p69　２．２拍以下の意味のまとまり　【備考】
「ごみ」の切れ続きについて質問します。
あくショリ　灰汁処理　アクショリ
ごみショリ　ごみ処理；ゴミ処理　ゴミ■ショリ
この２つの用例の違いは、どのように説明できるのでしょうか。
「意味の理解」を助ける、ということになるでしょうか。
また、「てびき」p69の「相手の拍数が長く」というケースは、混種語でも同じように考えていいでしょうか。
コンクリート壁　コンクリートカベ　（「てびき」p73の用例）
プラスチックごみ　→　プラスチックゴミ（？）

コンクリートもプラスチックも６拍なので、「相手の拍数が長い」ということにも該当するかなと思いました。

プラスチック■ゴミ　でいいのではないかとも思ったのですが､「コンリートカベ」が続いているので、ここでうまく説明できませんでした。

コンクリートカベを切ってしまったら、余計理解しにくいだろうとも思います。拍数だけで判断することではないということは理解していても、きちんと説明するのは難しいです。

【A】

「ごみ」は２拍の和語ですが、普通の和語と少し異なるところがあると思います。もともとは、小さな塵・あくたや泥などを指す言葉ですが、現代社会ではもっぱら様々な廃棄物を指して使い、「ゴミ」とカタカナで書いたり、「護美箱」などと当て字が用いられたりして、本来の和語の意識が薄れがちなようです。

「種」を逆にした「ネタ」のように特殊な和語とまではいえませんが、どちらかと言えば切り離した方が分かりやすい場合もあると考えています。

「ごみ」のこのような性質を考慮した上で、切れ続きを考える場面では、結びつく相手の語との関係で考えることになります。

「ごみ容器」「ごみ捨て場」「ごみ拾い」「ごみ屋敷」など複合名詞として熟した語は、２拍の和語の原則通り続けて書きます。

「プラスチックごみ」も拍数は長いのですが、ごみ分別の１種別として熟して使われますので、p73　(3)のルールに即して一続きに書きます。

これに対して、「ごみ■問題」「ごみ■処理」の「問題」や「処理」は、様々な語と結びつく言葉で、相手の語を切り離して明確にした方がわかりやすい場合があると考えられます。

これらのことを考慮して、「ごみ■処理」は、区切って書いた方がよいと判断しました。

「灰汁処理」は「あく」を一般的な２拍の和語と捉えて続けて書いてよいと判断しましたが、判断に幅が出てもやむを得ないところだと思います。

８．p69　２．２拍以下の意味のまとまり【備考】

このページの「３拍以上の意味のまとまり」の回答に「半分、自身、自体、全体、平均などは、相手の語と複合語を作らずに、ほとんどの場合区切って書きます。…」とあります。これについて簡単に説明してください。

例えば「足■全体」では、修飾語が前から修飾せずに、「全体」が後ろから「足」を修飾して制限しているように思えるし、また「足」「全体」ともに自立性が強いようにも思えるのですが。さらに、なぜ複合語を作らないのか解りません。

【A】

「半分、自身、自体、全体、平均」などについては、p69【備考】に当てはまるところです。

複合名詞は、二つ以上の語が合わさって、もともとそれぞれが持つ意味とは異なる新たな一語としての意味を持つようになった語を指します。

「足」と「首」が複合して「足首」になれば、元々の「足」でも「首」でもない別のもの（「足首」）になっています。

ところが「全体、自体・・・」などは、前の語を強調したり、意味を明らかにしたりするだけの語です。「足全体」とあっても、「足」に変わりはない、ただ足を強調して「足全部」ということを言っているので、複合語になっているとは言えないのです。ご質問にある「半分、自身、自体」などは、「全体」と同じ働きをしているので、複合語にはなりません。

「足」は２拍の語で、複合名詞の中で区切って書くことのできる意味のまとまりではありませんが、「足全体」は複合名詞ではありませんので、それぞれ別の語として区切って書くことになります。

ただ、p69の【備考】には、ほかのことも書いてありますのでそれだけではないのですが、ご質問の語についてはこのような考え方になります。

９．p69　３．２字以上の漢語

「けち」という言葉が付く複合名詞の場合、分かちはどうなるでしょうか。

「けち人間」「けちばあさん」など調べてみると、「けち」は「吝嗇（りんしょく）」という言葉を当てて書くこともあるようで、この当て字であるということが気にかかって区切って書くのではないかという人もいます。当て字は、本来の字ではありませんので、２拍以下の意味のまとまりとして考えてよいでしょうか。

【A】

「けち」は２拍の和語ですので、複合名詞を作る場合は相手の語について一続きに書くことになります。２字２拍の漢語は、当て字であっても、一拍に漢字１字が対応することになります。「ミソ」は「ミ」に「味」が対応し、「ソ」に「曽」が対応します。「けち」全体を「吝嗇」で当て字にする場合は、１字ずつに対応しているわけではありませんので、元の語は２字２拍の漢語ということにはなりません。

10．p70　３．２字以上の漢語　(2)　③

４字、5字程度の漢語からなる複合名詞の分かちについてのお尋ねです。

小中高校　ショー■チュー■コーコー

小中高生　ショーチューコーセイ

と、あります。この考え方を教えてください。

また、「受験を前にした小中高校生」の場合は、「小中高校生」をどのように考え

たらよいのでしょうか？

【A】

小、中、高校はそれだけで、小学校、中学校、高等学校を表しますので、「小中高校」の場合、「小学校・中学校・高等学校」の並列と考え、「小■中■高校」と書くことにしています。

「小中高校生」も「小■中■高校生」と書きます。

それに対して、小中高生の場合、「高生」という言葉はありませんので、全体で「小中高」の「生徒」となります。「てびき」p70　(2)③に当てはまるので、一続きに書いています。

11. p71　５．外来語

原文に「キャンディコートナッツ入りコーヒーフラペチーノ」という表現がありました。この中の「キャンディコートナッツ入り」の部分についてお尋ねします。英語にcandycoat という単語があるのでそこから来ているとすると「キャンディコート■ナッツイリ」となるのかと思うのですが、それとも「キャンディ■コート■ナッツイリ」なのでしょうか。

candycoat（アメがけするの意)の英単語から由来しているとすると、本来はcandycoatedとなるはずですが、スモークサーモンも正しくはsmoked であるのと同じで、日本語にするとき、よく「ed」が省かれて使われるのと同じ扱いなのかと思ったり、迷っています。

【A】

キャンディ、コート、ナッツ　すべて３拍の意味のまとまりですから区切って書きます。キャンディ■コート■ナッツイリ　となります。

本来は外国語であっても、日本語化した外来語としてカタカナで書かれている場合は、その中の意味のまとまりを日本語として考え、「てびき」p71　５．に準じて判断します。

「キャンディコートナッツ入り」の場合は、それぞれが日本語としてなじみのある語になっていますので、「キャンディ■コート■ナッツイリ」と書きます。「スモークサーモン」も「スモーク■サーモン」と書きます。

「インターネット」や「スーパーマーケット」も英語と捉えると「インター」や「スーパー」は英語では接辞(接頭語）ですので、区切って書くのはおかしいということになりますが、これらの語は日本語になっているとして、拍数で区切って書くことにしています。「グレープフルーツ」も、ブドウと果物ではないのだから区切って書いてはおかしいという議論も30年ほど前にはありましたが、今では「グレープ■フルーツ」で定着しています。

ただ、「日本語になっている外来語」とは言えない場合もありますので、「てびき」

p74「コラム18」などもお読みいただいて判断してください。

12. p71　５．外来語

点訳フォーラムの語例に「グッジョブ」「グッド■ジョブ」「グッ■モーニン（グッドモーニング)」があります。

グッド■ジョブ（形容詞＋名詞）は、あわせて５拍ですが、複合名詞ではないので区切ると理解しています。同じ意味の「グッジョブ」は、形容詞の「グッド」が「グッ」となり日本語（外来語）として自立しないので一続きということになりますか。

また、「グッ■モーニン」（グッドモーニング）は、「おはよう」というあいさつだから、「グッド■ジョブ」とは語の成り立ちが違うと考えるのでしょうか。「グッドモーニング」の「グッド」も形容詞であるなら「グッ」は「グッジョブ」と同様に自立しないと判断し「グッモーニン」と一続きになるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。

また、外国語の挨拶で悩むものがあります。

フランス語ですが、原文で

「Bonne soiree（よい夜を）！」※ Bonneに「ボンヌ」soireeに「ソワレ」とルビと出てきました。「ボンヌソワレ」は一続きか、区切るのか悩みます。

「ca va?」※caに「サ」vaに「ヴァ」とルビ

の場合はどうでしょうか。

マスあけも含め、疑問符・感嘆符の位置もどうすればいいのか悩みます。

（フランス語の「ee」の前のeにアクサンテギュ、「ca」のｃにはセディーユが付いている)

【A】

外来語は外国の言葉が日本語と同様に使われるようになった語を指しますので、外来語なのか、外国語をカタカナ書きしただけなのかの判断に少し幅が出てきます。英語の単語や挨拶語などは日本語同様に使われているものが多いので、外来語の切れ続きの規則で判断できますが、英語でも「レッツ■ゴー」や「グッド■ジョブ」などのように明らかに複合名詞といえない場合は短くても区切って書きます。

また、外国語の発音や表記には幅がありますから、「グッド」を「グッ」「モーニング」を「モーニン」などと書いても、切れ続きは変わりません。

ただ、「グッジョブ」は短い語で、このように発音すると、日本語の会話の中でも１語として自然に使われるので、一続きに書くと判断しました。

一方、フランス語やドイツ語などになると、なじみのある外来語は限られてくるので、区切って書くことが多いと思いますが、ドイツ語はスペルが長くても一続きに書きますし、フランス語は、隣の語と連続して発音される場合もあって、なかな

か規則的には行かないと思います。
　Comment allez-vous？（コマンタレヴ）などは３語ですが、語同士が結びついているので途中で区切ることはできないと思います。
サヴァも２語ですが、「サヴァ」で「元気？」という意味で、「サ」（これ）、「ヴァ」（行く）、それぞれの意味とは全く異なるので、続けて書いた方がよいと思います。
「ボンヌ■ソワレ」はそれぞれ独立した単語として区切って書いてよいと思います。
感嘆符などの句読符は、カッコの後ろになります。
　「サヴァ（引大④Ca■va引）？」
　「ボンヌ■ソワレ（引大Bonne■soir④ee引）■（良い■夜を）！」
となります。

４　その他の注意すべき切れ続き

１．p81　１．接続詞句・副詞句

　時代小説の会話の応酬の場面です。
　「てことは、何だ、…」という会話文のはじまりの「てことは」の切れ続きを教えてください。
　併せて、「ってことは」、「てこたあ」などなら、どのようになるでしょうか。
　　【Ａ】
　「テ■コトワ～」「ッテ■コトワ」「テ■コタア」となります。
　話し言葉調で、「それってことは」の「それ」の部分が省略された形ですので、「てびき」p81　接続詞句の「というのは」「とはいえ」などと同じように考えます。

２．p83　５．繰り返し言葉

　繰り返し言葉「まだまだ」に、ついてです。
　語例では、ますあけと一続きがありますが、その違いは何でしょうか？
　「まだ■まだ■半人前だ」「この■調子では■まだまだだ」と、なっていますが、この違いを教えてください。
　　【Ａ】
　「まだまだ」「そうそう」「まあまあ」など繰り返される部分だけで成り立っている場合は、区切って書くことが原則で、「てびき４版」p83【備考２】に該当する場合にだけ続けて書きますが、「まだまだだ」「そうそうに」「まあまあの」などのように後ろに自立しない付属語が付いて意味が異なってきたり、区切ると不自然な形になったりする場合は一続きに書きます。
　「まだまだ」だけの場合は、「まだ■まだ■半人前だ」と区切って書き、後ろに付

属語が付くと、「この■調子では■まだまだだ。」と続けて書きます。

３．p83　５．繰り返し言葉

「え？ ええっ！？ そそそれって！？」の分かち書きを教えてください。

「え？■■ええっ！？■■そそそれって！？」

「え？■■ええっ！？■■そそ■それって！？」

「え？■■ええっ！？■■そ■そ■それって！？」

同様に

「そそそんなことはありませんですよ！」

「それとも、すすすす好きですなんていってしまったりするのか。」

などのような文もあります。

【A】

１音が重なる場合は、「ええっ」「おおっ」のように１語になる場合を除き、マスあけして書きます。

「え？■■ええっ！？■■そ■そ■それって！？」

「そ■そ■そんな■ことは■ありませんですよ！」

「それとも、■す■す■す■す■好きですなんて■いって■しまったり■するのか。」

となります。

４．p83　５．繰り返し言葉

繰り返し言葉の切り方について質問します。点訳ナビゲーターや点訳フォーラムの語例で「ゴクゴクゴクト■ノム」があります。

「てびき」ｐ84に「ズルズルズル」と「ズルズル■ズルズル■スベル」があります。

ゴクゴクゴクッ

ズルズルズルッ

のように、最後に促音がついた場合はどうなるか教えてください。

「ゴクゴク■ゴクッ　ズルズル■ズルッ」と２拍が２回＋３拍のように考えて切りますか？

「ゴクゴクゴクッ　ズルズルズルッ」と２拍が３回と考えて続けますか？

【A】

「ゴクゴクゴクッ」「ズルズルズルッ」という場合は、２拍の繰り返し＋３拍と考え、「ゴクゴク■ゴクッ」「ズルズル■ズルッ」とするのが自然な書き方と思います。

５　動植物名・理化学用語・医学用語・漢字や仮名で書かれた単位

１．p84　２．理化学用語

温泉の泉質の書き方について質問します。

酸性・含硫黄・鉄（Ⅱ）＿ナトリウム＿硫酸塩・塩化物泉

などを訳すとき、＿は、第１つなぎ符でしょうか？波線ではおかしいと思うのです。

また、ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉　とある場合は、ナトリウム■炭酸■水素塩■塩化物泉となりますか。

【Ａ】

温泉の泉質一覧などを基に考えてみました。

https://www.spa.or.jp/onsen/501/

http://onsen.life.coocan.jp/onsen/senshitsu2.html など

この長い泉質を分類別に分けてみると

《酸性》《含　硫黄・鉄（Ⅱ)》《ナトリウム－硫酸塩・塩化物》泉

となるようです。

墨字の中点、ハイフンと点字の中点、第１つなぎ符とでは、記号の用法が異なりますので、墨字の記号をそのまま点訳すると

《酸性》《含硫黄》《鉄（Ⅱ）＝ナトリウム＝硫酸塩》《塩化物泉》

というふうに分けられ、意味が異なってしまいます。

ですので、中点やつなぎ符類をできるだけ使用しないで以下のように点訳してはどうでしょうか。

サンセイ■■ガン■イオー■テツ（外大大ＩＩ）■■ナトリウム■リューサンエン■エンカブツセン

「ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉」は、ナトリウム■炭酸■水素塩■塩化物泉と書いてよいと思います。

その３　固有名詞

１　人名

１．ｐ87　１　人名

翻訳物などに出てくる外国人名（ニックネーム）の分かち書きについてです。

外来語６拍以上の語（うち３拍以上）は意味や語源で区切ると理解していました。しかし、校正をしていて、点訳者の方が続けて書かれているので、人名やニックネームは分かち書きをしないというルールがあったのかな、分かち書きルールを間違えて覚えたかなと自信がなくなり、色々調べたのですが記載されている箇所を探す

ことができませんでした。
　レディーバード　（てんとう虫）Lady　bird　⇒レディー□バード
　コーンブレッド⇒コーン□ブレッド
ではありませんか？
　　【A】
　ニックネームでしたら、「レディー■バード」「コーン■ブレッド」と書いてよいと思います。
　ただ、人名でしたら、姓と名の間は区切りますが、その中は一続きになります。
たとえば、「てびき第３版Ｑ＆Ａ」Q42にある「ローズマリー」ですが、人名の場合、「ローズマリー■サトクリフ」（作家）は一続きですが、「ローズ■マリー」（ハーブの名前）というニックネームの場合は、「ローズ■マリーチャン」となります。
ですから、「コーンブレッド」が名字だった場合は、たとえば「マリー■コーンブレッド」のようになります。
人名かニックネームかの判断は必要になります。

２．p89　２．敬称・官位など　【備考２】
　上田敏訳の訳や記、著、編などは前を区切って書きますが、（訳）（著）などのように（　）でくくられた場合も一マスあけるのでしょうか？
　　【A】
　カッコは前の語の注釈的説明にあたる場合は続けて書きますので、この点を考慮することになります。
　たとえば、参考文献などで、
　海潮音　上田敏(訳)　1952　新潮文庫
などのように列挙してある場合は、ウエダ■ビン■（ヤク）と書きますが、
　「海潮音」は､上田敏(訳）の代表作です。
などのように、文の形で書かれて、(訳）が前の語の注釈的説明となっている場合は、
　ウエダ■ビン（ヤク）　と続けて書きます。
　前後の文脈で、（訳）が独立して用いられているか、前の語の説明として用いられているかを判断することが必要になります。

３．p89　3.「さん」「様」「君」「殿」「氏（し・うじ)」【備考１】
　歌舞伎の登場人物の斧九太夫(家老)や原郷右衛門などは、由良之助良兼のように役職名と思いますが「様・殿」をどう判断したらよいでしょうか？
吉良様・吉良殿など吉良上野之介本人ではなく、そのお屋敷ととれる場合は続けて［キラサマ］と区別すべきでしょうか？
　　【A】

役職名の判断の仕方ですが、「長官（かみ)」「次官（すけ)」「判官（じょう)」「主典（さかん)」などと、その別字「～頭、～守、～介、～助、～佐、～納言、～弁」などの官位・官職を、江戸時代までの日本の役職名と判断するのがよいと思います。その家代々の名前や通称などまで考えていくと判断が難しくなります。
ですので、吉良上野介、大石内蔵助などは、役職名（普通名詞）と判断しても、斧九太夫、原郷右衛門、由良之助良兼などは固有名詞として、「様・殿」は区切って書いてよいと思います。
「吉良様、吉良殿」は「固有名詞＋様・殿」ですので、「キラ■サマ」となります。
一族を表す場合に続けるのは「氏」だけです。点訳フォーラム「点訳に関する質問にお答えします」第３章 その３　固有名詞　１．人名の「徳川家の時代」「水戸様」について取り上げたＱ＆Ａも参考にしてください。

４.p90　３.「さん」「様」「君」「殿」「氏（し・うじ)」【備考１】

「名無しの権兵衛さん」の切れ続きについてお伺いします。ハンドルネームの場合は「名無しの■権兵衛■さん」と切れると思いますが、名前の不明な人を指していう場合、「名無しの■権兵衛さん」と続けるのでしょうか、それとも、仮名と捉えて「名無しの■権兵衛■さん」と切れるのでしょうか。

【Ａ】

「権兵衛」だけでも「名無しの権兵衛」でも、名前の分からない人を仮に言う場合に用いる定まった言い方ですので、普通名詞ととらえていいと思います。

「ナナシノ■ゴンベエサン」と書いてよいと思います。

ハンドルネームが「名無しの権兵衛」の場合は、「ナナシノ■ゴンベエ■サン」になります。

５．p90　３.「さん」「様」「君」「殿」「氏（し・うじ)」【備考２】

「およし、おりん」など、名前の前に“お”がつくと、「てびき」p90【備考２】により、「さん」「殿」を続けて書くとされていますが、時代小説の場合、その違いがよく分かりません。愛称の“お”か、名前としての“お”か、深く考えずに全て愛称と考えて良いでしょうか。

【Ａ】

判断に迷うところですが、原本で、本名が「およし」「おりん」などと「お」を含んだ名前であることがはっきりと書かれていない場合、愛称として「オヨシサン」「オリンサン」と続けて書く方がよいと思います。
本人が自分の名前をどう呼んでいるか、地の文でどう書いてあるかなどが参考になると思います。

３　その他の固有名詞

１．p94　１．その他の固有名詞

新潟県知事選挙、新潟県議会議員選挙の分かちを教えてください。

「県」が新潟につくのか、後ろにつくのか点字表記の語例では判断できませんでした。

【A】

新潟県■知事■選挙　　新潟県■議会■議員■選挙　となります。

県知事、県議会だけのときは一続きですが、前に県名が付いて新潟県知事、新潟県議会となった場合は、新潟県■知事、新潟県■議会と書きますので、後ろに「選挙」が付いても、その前のマスあけは変わりません。

東京都、大阪府、北海道の場合も、それぞれ、東京都の知事、大阪府の知事、北海道の知事ですので、東京都■知事、大阪府■知事、北海道■知事となります。

議会についても、それぞれ、「～県（都、府、道）の議会」ですので、「～県（都・府・道）■議会」となります。市の場合も、新潟市■議会　となります。

なお、「てびき第３版　ハンドブック３章編」p65「コラム　大阪市長vs東京都知事」も参照してください。

２．p96　「コラム22」

韓国の固有名詞について、コラムでは、「人名・地名は原音で書くのが原則です。日本での読みが定着している場合は原音の後ろにカッコ類で囲んで日本での読みを書きます」とあります。

(1)「原音で書くのが原則」は人名・地名に限定されますか。組織名や建造物名などの扱いはどうなるでしょうか。

(2) ここの用例に、「李承晩ライン」の記載があります。李承晩は日本での読みが定着していると思われますので、コラムの書き方に従うと「イ■スンマン（リ■ショーバン）■ライン」となるはずです。しかし、後に平和線（ピョンファソン）と改称され､現在は歴史的な日本での読みのみが残っているための表記でしょうか｡「李承晩」を書く場合、初出時は「イ■スンマン（リ■ショーバン)」、二回目以降は「イ■ スンマン」、李承晩ラインは「リ■ショーバン■ライン」と書き分けることになるでしょうか。

(3) この本の固有名詞は、韓国語のルビ、日本語のルビ（例：青瓦台　（セイガダイ）韓国の大統領府)、ルビなし（例：板門店）などと統一されていません。「Ｑ＆Ａ」などでは「ルビを鵜呑みにせず調査することが望ましい」とあります。(1)と重複しますが、人名・地名に限らず出来るだけ調査し原音で書くという姿勢で良いでしょうか。

【A】

(1) 原則としては、組織名や建造物名であっても原音で書くことになります。

(2)「李承晩」を「リ■ショーバン」と書くと言っているのではなく、「コラム22」の「歴史的な事件や原文の文脈上当時の読み方が適切な場合」の例としてあげています。「李承晩」は人名としては「イ■スンマン」と読みます。

(3)原則として原音で書くことになりますが、「青瓦台」、「板門店」を「チョンワデ」「パンムンジョム」と書かれているよりも「セイガダイ」「ハンモンテン」の方が日本人にはなじみがあって分かりやすいと思いますので、初出の時に原音の後ろに第１カッコで囲んで日本の読みを書くなどの工夫が必要と思います。

原本で韓国語のルビが付いている場合と日本語のルビが付いている場合とで、原本に意図がある場合は、点訳書凡例で断って、日本語のルビの場合は、その通りに書く方法もあるのかもしれません。

朝鮮の固有名詞の場合は、裁判などの影響もあって、教科書でも原音のルビも付くようになりましたが、日本読みの方がなじみのあることも多いので、点訳書凡例などを活用して読みやすい点訳を心がけることが必要だと思います。

その４　方言・古文など

１．p97　１．方言の分かち書き

方言で、「オラに相談してきたんちゃうん？」という文があります。「ちゃうん」は続けて書きますか、区切って書きますか。

【A】

「オラニ■ソーダン■シテ■キタン■チャウン？」となります。

「ちゃう、ちゃうん」は「違う」が省略された言い方で、直訳すると「相談してきたのと違うの」となります。

「～んちゃうん」「～んちゃう」で「～じゃない」というような言い方にもなりますので、「ちゃう」の前で区切って書きます。

点訳フォーラムの語例集で「ちゃう」といれて検索をしてみてください。

ええんちゃう　エエン■チャウ 方言（関西）いいんじゃない

出来るんちゃう　デキルン■チャウ

出てくるんちゃう　デテ■クルン■チャウ　方言（関西）出てくるんじゃない

やせたんちゃう　ヤセタン■チャウ　方言（関西）やせたんじゃない

がヒットします。

２．p97　２．古文・漢文の分かち書き

小説に出てくるはがきの文面ですが、どの様に点訳したらよいのか教えてください。

カギで囲んだのが小説の原文です。

「そこには漢字だけがずらずらとならんでいた。

子意遠可射

依依見其面

疑子在咫尺」

漢詩の一部らしいのですが、どのように点訳すればわかりやすいのでしょうか。漢字一文字ごとにマスあけし、それぞれの漢字を点訳挿入符で説明するのでしょうか。

【A】

漢文は、書き下し文で表すことになりますので、この場合も漢字だけを書いても文意が通じません。少なくとも、点訳挿入符で漢字５文字３行あることを断ります。このあとの文脈によって、それだけでよい場合もあると思いますし、書き下し文が必要な場合もあると思います。

例として書いてみました。

点挿カンジ■数５ジズツ■数３ギョーノ■カンシ。■■カキクダシブンデ■オヨソノ■イミヲ■シメス。点挿

■■シ（キミ）ノ■ココロ■トオクシテ■イルベシ

■■イイトシテ■ソノ■オモテヲ■ミル

■■ウタガウラクワ■シノ■シセキ（チカク）ニ■アリヤト